

第1回再生医療等研究者向け教育研修会

再生・細胞医療・遺伝子治療の 倫理・社会共創を考える

2026年
1月10日(土) 13:30～16:30 (13:00 開場)

形式 現地、WEB 配信 (ハイブリッド開催)

会場 日本橋ライフサイエンスビルディング 2階 大会議室
東京都中央区日本橋本町 2-3-11

再生・細胞医療・遺伝子治療の研究が進む中で、社会との関係性や倫理的な視点がますます重要になっています。
本研修会では、再生・細胞医療・遺伝子治療の研究に携わる研究者と、倫理・社会共創分野の専門家・支援者が集い、制度や患者・市民参画、社会受容などをめぐる課題を共有しながら、「倫理・社会共創とは何か」を改めて学び、考える場をつくります。
皆様のご参加をお待ちしております。

募集人数 100名 (現地)、500名 (WEB)
※いずれも先着順

参加費 無料 **申し込み締め切り** 2026年1月6日(火)

対象 AMED 再生・細胞医療・遺伝子治療実用化プログラム採択研究開発課題に従事する研究者、倫理・社会共創の研究者及び支援者等

申し込みフォーム

<https://form.jotform.com/252891021471049>



プログラム

13:30	開会あいさつ 「AMED C 課題：倫理・社会共創支援の活用法」 山本洋一 (大阪大学医学部附属病院)
13:40	「倫理・社会共創に関する概念・用語の概説」 河原直人 (九州大学病院)
13:55	「再生医療等の実用化に向けて検討するべきロードマップと社会的価値の最大化～社会共創のあり方」 松山琴音 (国立成育医療研究センター)
14:10	「ファーストペンギンとしてのがんに対する遺伝子治療 PI の経験」 谷憲三郎 (東京大学)
14:40	「再生・細胞医療・遺伝子治療実用化加速化プログラム (再生・細胞医療・遺伝子治療研究実用化支援課題) について～患者・市民参画で考慮すべき事項を中心に～」 都築博彦 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED))
14:55	休憩
15:10	パネルディスカッション 「再生・細胞医療・遺伝子治療研究と倫理・社会共創」 司会：神山圭介 (慶應義塾大学病院) パネリスト：都築博彦、飯島祥彦 (藤田医科大学)、稲野彰洋 (福島県立医科大学)、 河原直人、谷憲三郎、松山琴音、山本洋一
16:20	閉会あいさつ 神山圭介

主催：再生・細胞医療・遺伝子治療実用化加速化プログラム 再生・細胞医療・遺伝子治療研究実用化支援課題 倫理・社会共創課題

後援：日本再生医療学会、日本遺伝子細胞治療学会、日本臨床薬理学会、日本臨床試験学会、日本生命倫理学会

問合せ先 再生医療研究者向け教育研修会 事務局 (CS センター内) TEL: 075-241-9620/ FAX: 075-241-9692 E-mail: saisei@cscenter.co.jp